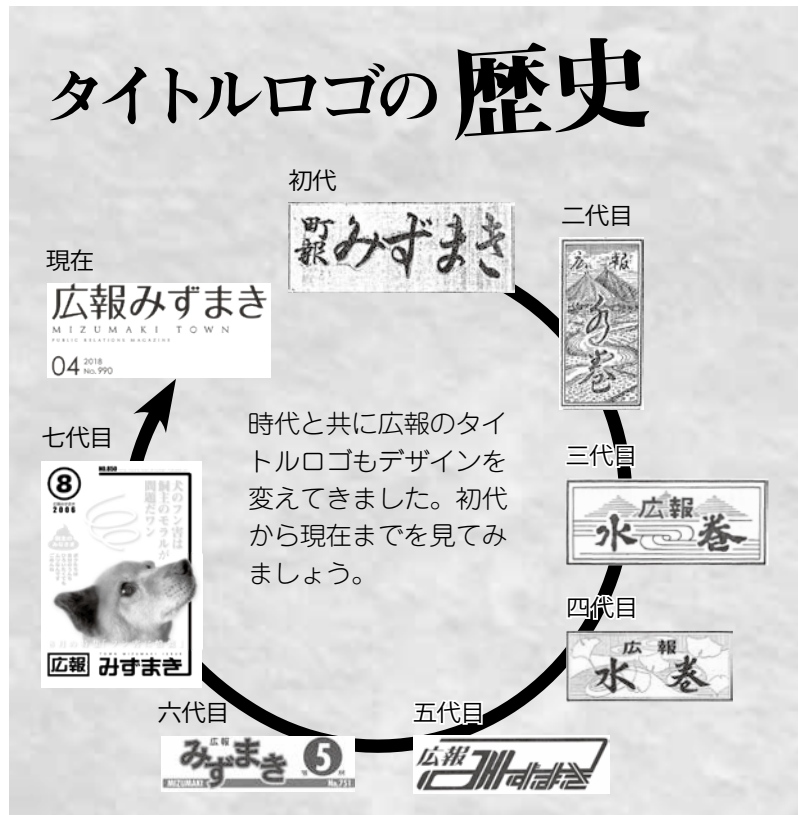




昭和25年から皆さんの元に届くようになった広報紙。紙面には行政からのお知らせや住民の皆さんの笑顔などが掲載されています。発行当初はタブロイド判と呼ばれる新聞紙のような広報紙で、行政のお知らせが中心の紙面でした。時代とともに広報紙も形を変え、現在はA4判の冊子型広報紙で行政情報の発信だけではなく、

広報みずまきの役割

町の人たちの取り組みや頑張りを紹介するコーナーや特集を組むなど、町への愛着を持つってもらうことや、町づくりの一つの手段として皆さんの元へと届けられています。その広報みずまきも創刊から69年、1000号の発行を迎えました。紙面を基に69年間の歴史を振り返ってみましょう。

皆さんと共に歩んで69年 「広報みずまき」 創刊1000号

広報みずまきは今号で1000号を迎えました。昭和25年に創刊して以来69年にわたり、町の歴史を刻んできた本紙。時代の流れの中で少しずつ変化をしてきました。

今回の特集では過去の広報紙をめくりながら、1000号までの町の歩みを振り返ります。



昭和45年 振り返る、町と広報の歴史



▲昭和39年10月1日発行
頃末小学校前の国道が東京オリンピックの聖火コースの中継地点となっていたため、小学校の国道に面した校庭の土手に頃末小学校の児童925人とPTAが協力して五輪をかたどって花を植え、オリンピックを盛り上げようと花壇の造園に取り組みました。



▲昭和34年7月10日発行
水巻町にあった日炭高松の社会人野球チームが初めて全国大会出場を決めたときの広報紙。



第2号の広報では、消防団の出初式の様子などが掲載されました。当時はタブロイド判で、名称は「町報みずまき」。記念すべき第1号は残念ながら保管されていませんでした。持っている人がいましたら、広報係まで連絡ください。
◀昭和25年1月15日発行
町の公民館で、結婚式が行われていました。記念すべき第1回の結婚式の様子を紹介した一面です。
◀昭和33年2月10日発行



全国広報コンクールで、町のホームページが総務大臣賞（特選）と読売新聞社賞の二つの賞を受賞し、町村の部で日本一に輝きました。

◀平成26年7月10日発行



町の公式マスコットキャラクターみずまろが誕生。

◀平成30年4月10日発行

遠賀郡4町合併の協議が行われていましたが、合併の話は白紙になりました。

平成16年9月25日発行▶



自然流もいけれど...

全国広報コンクールで入選した広報紙。テーマは三つの違う自治体の中心を走る県道に生い茂る雑草の草刈り。同じ県道なのに、水巻町だけ草が刈られていないのはなぜかというのを追及した特集でした。

◀平成2年8月10日発行



猛暑で干上がった遠賀川から、様々なものが姿を現しています。

◀平成6年9月10日発行



新庁舎のオープンを号外でお知らせ。皆さんが利用しやすいように窓口業務が1階にきました。

◀昭和60年1月25日発行号外



B5判から現在のA4判の広報紙へ。10日号のページ数が増えて特集などが組まれるようになりました。25日号がお知らせ版へと変わったのもこの頃からでした。

◀昭和62年4月10日発行



▲昭和49年3月8日発行

▲昭和49年4月10日発行

タブロイド判からB5判の広報紙へと変わり、発行回数が月1回から毎月10日と25日の2回に増えました。この頃から表紙に大きな1枚写真が使われるようになりました。



▲昭和46年3月19日発行号外

日炭の閉山を伝えた広報。新聞報道で知らされた突然の閉山に、「町全体に多大の衝撃」という言葉が記されていました。

みんなの掲示板

平成12年から連載スタート



当初は、みんなのひろばという名称で赤ちゃんアルバムやおいしいおかずレシピも一緒に掲載していました。平成28年からみんなの掲示板と名称を変え、皆さんから投稿されたサークル・団体の会員募集や講座・イベントのお知らせなどを掲載しています。その他にも写真やイラスト、広報みずまきへの意見や感想なども募集しています。皆さん気軽に投稿してください。

頑張ってます

平成7年から連載スタート



当初は町内で働く若い人を紹介するコーナーとして連載をスタートしました。その後働く人という枠を解除し、大会で優れた成績を残した人、優れた技術を持っている人など町の頑張っている人を紹介するコーナーへと変わっていきました。

自慢の特技や、大会などで優秀な成績を残したなど、広報係まで連絡ください。

赤ちゃんアルバム

昭和56年から連載スタート



1歳になる赤ちゃんの写真とメッセージを掲載。連載当初は元気な赤ちゃんという名称で中のページで紹介していましたが、平成12年から赤ちゃんアルバムと名称を変え、平成15年からは裏表紙にカラーで掲載し、より多くの皆さんに見てもらえるようになりました。皆さんも記念に1歳になる赤ちゃんの写真を広報紙へ掲載しませんか。

紙面彩る連載コーナーの歴史

広報みずまきには、特集や行政のお知らせ記事のほか、いくつかの連載コーナーを設けて皆さんに親しんでもらえるよう工夫を凝らしてきました。その中でも、町民の皆さんからの投稿や取材協力などで構成されている連載コーナーを紹介します。

広報ゆかりの皆さんにインタビュー



頑張ってます！
これからの大好きなピアノを
楽しく弾いてたいです
原田 裕司さん（二歳）
●生年月日 平成10年4月
●好きなもの 動物
●特技 絵
●学校 伊左座
頑張ってます！
これからの大好きなピアノを
楽しく弾いてたいです
原田 裕司さん（二歳）
●生年月日 平成10年4月
●好きなもの 動物
●特技 絵
●学校 伊左座

平成22年に全国ピアノコンクールでグランプリを受賞したことがきっかけで、頑張ってますのコーナーで取材を受けました。今回改めて取材を受けるというのは不思議な感覚です。久しぶりに当時の記事を見ましたが、紙面に残ることで当時のことを思い出すきっかけになりました。懐かしいなというのと、写真を見て我ながら変わったなという印象を受けましたね。けれど、ピアノが好きというのは今でも変わっていません。今年は成人式で校歌を演奏し、また一ついい思い出ができました。



赤ちゃん写真に登場した新成人
森田彩也花さん（緑ヶ丘）

平成11年5月発行の広報紙、こどもの日赤ちゃん写真で表紙にたくさんの同級生たちと一緒に1歳のころの私の写真が掲載されています。

幼いころに広報紙の赤ちゃんアルバムの写真を見ていたときに母親から、「あなたも赤ちゃんのころの写真が広報紙に載ったことがあるのよ」と言って見せてもらったことがありました。今改めてその広報紙を見ると少し照れ臭いですが、いい記念になったと思います。写真を投稿してくれた両親に感謝しています。

広報みずまき愛読者
高瀬節子さん（猪熊）



毎月2回発行される「広報みずまき」は隅から隅まで読んでいます。仕事をしていたときは仕事仲間との会話などでさまざまな情報を収集していましたが、退職した今では町の広報紙が私の大切な情報源となっています。広報紙にはお得な情報やイベントのお知らせなどが載っているので、その中から自分に合う記事を探して生活に役立てています。

インターネットが普及して何でも自分で調べられる時代になりましたが、インターネットが使えない人でも情報収集できる紙ベースの広報紙を届け続けてほしいですね。

広報を配布し続け14年
小江由美子さん（伊左座）



広報紙には子どもが載ったり、公民館の活動で関わりがあったりと広報配布員になる前から何かと縁がありました。私は広報配布の仕事が好きです。広報を配布するときは歩くことが多いので、普段車で通るだけでは感じ取れない町の変化などを感じることができるのも魅力ですね。配布を通してさまざまな経験ができますが、一番の魅力は人との出会いですね。顔なじみの人とあいさつを交わしたり、お話をしたり、毎月2回の広報配布を楽しんでいます。これからも広報を待っている人たちのため配布を頑張ります。

広報みずまきが皆さんの手元に届くまで

毎月10日と25日に発行される広報みずまき。広報紙がどのように作られているのか、その工程を紹介します。

1. 特集企画…年の初めごろ
1月ごろに特集企画の編集会議を行います。町の動きや社会問題などを精査し、次年度の1年間の特集企画を大まかに決めていきます。

2. 情報収集…約1か月前
必要な情報を必要なときに皆さんにお知らせするため町の情報を役場職員から集めます。

3. 取材・撮影…随時
特集やまちのわだいの記事を作るために広報の担当者がメモ帳片手にカメラを下げて、町に繰り出します。話を聞いたり、写真を撮ったり、町で広報担当者を見かけたら取材に協力してくださいね。

4. 編集…7～10日程度
取材した情報や写真、各課からの原稿の貼り付け位置などを決め、編集専用パソコンで紙面を作っていきます。取材で外に出ているイメージが強い広報ですが、編集期間の大半はパソコンでこの編集作業をしています。

5. 校正・入稿…発行日の約10日前から3日間
紙面ができたら、各課に校正を依頼。掲載された内容に間違いがないか各課にチェックをお願いします。間違いなどを修正し、翌日課内で校正。間違いがあれば修正し、その翌日印刷会社にデータを渡し、入稿します。

6. 色校正…入稿の翌日
入稿したデータを印刷会社が試し刷り。色味などをチェックし、色味の調整や間違いがあれば修正します。

7. 印刷
印刷会社で1万3300部が印刷製本されます。

8. 納品・配布
毎月発行日の約2日前に役場へ納品されます。町と契約した広報配布員さんが納品日から発行日の翌日までの約4日間で全世帯に配布をしています。

必要な存在であり続けるために

広報紙は町づくりの方針や町の当時の様子を住民の皆さんに分かりやすく伝えるためのツールの一つです。また、町の今を未来に伝えていくための大切な史料でもあります。インターネットでも何でも調べられる時代になりましたが、皆さんに町の情報を平等に伝えるためには全世帯に配布される広報紙が必要です。

広報みずまきは住民の皆さんにとって必要な存在であり続けたいと考えています。そのためには読者である皆さんの意見が欠かせません。こんな情報が知りたい、こんな特集をしてほしいなど、広報みずまきに期待することを教えてください。皆さんの意見を今後のより良い紙面づくりのために生かしていきます。今後も読者の皆さんの視点に立って、親しみを持ってもらえるような広報紙になるよう試行錯誤を重ねていきますので、応援よろしくお願いします。

皆さんの声を聞かせてください

●意見・要望・感想受付
▽はぎ宛先 〒807-850
1 水巻町役場企画課広報係
▽メールアドレス koho@town.nizumaki.jp
●問い合わせ 役場広報係 ☎201局4321番